

## 会 議 録

□全部記録    ■要点記録

<b>1 会議名</b>	姫路市総合計画策定審議会 第2分科会 第5回会議
<b>2 開催日時</b>	令和2年7月31日（金曜日） 14時00分～15時50分
<b>3 開催場所</b>	姫路市防災センター5階 災害対策本部会議室
<b>4 出席者又は欠席者名</b>	<p>姫路市総合計画策定審議会委員 第2分科会 委員 13人中 12人（1人欠席）</p> <p>姫路市総合計画策定審議会参与 5人中 2人</p>
<b>5 傍聴の可否及び傍聴人数</b>	傍聴可（5人） 傍聴人（0人）
<b>6 議題又は案件及び結論等</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 審議</li> <li>3. その他</li> <li>4. 閉会</li> </ol>
<b>7 会議の全部内容又は進行記録</b>	詳細については別紙参照

事務局	<p><b>1 開会 (14:00)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定刻となったので、始めさせていただく。本日は大変お忙しいところ、今月17日に開催した第4回会議に引き続きご出席いただき、誠にありがとうございます。ただいまから姫路市総合計画策定審議会第2分科会第5回会議を開催させていただく。</li> <li>・分科会としての会議の開催は、本会議が最後になるので、これまでの審議を踏まえ、それぞれのお立場から今日の会議についてもご意見を頂きたいと思うので、よろしく願います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料確認</li> <li>・ウェブ参加委員確認</li> <li>・欠席委員等確認</li> <li>・ここからの進行は分科会会長によろしく願います。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんこんにちは。それでは、お手元の次第に基づき、進めさせていただきます。17日開催の第4回会議に引き続いての分科会となるが、皆様方のご協力のほどよろしく願います。</li> </ul>
分科会会長	<p><b>2 報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「当日資料1 第2分科会第4回会議 意見一覧」、「当日資料2～4の政策修正案」、「当日資料5 市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待することの修正案」について、事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料説明。</li> </ul> <p>[説明資料] 当日資料1 第2分科会第4回会議 意見一覧</p> <p>当日資料2 産業分野(商工業関連)「政策2 活力ある商工業の振興」修正案</p> <p>当日資料3 観光・スポーツ分野「政策1 おもてなし観光交流都市の推進」修正案</p> <p>当日資料4 観光・スポーツ分野「政策2 スポーツを通じた活気あふれ</p>

分科会会長	<p>る社会の実現」修正案</p> <p>当日資料5 「市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること」修正案</p> <p>・ありがとうございました。それでは、ご意見、ご質問等をお願いする。当日資料2から4については修正案になる。それから、当日資料5については、「期待すること」を「役割」にする。それに伴って文章表現を変更するという話だが、それでいいかどうか、ご意見、ご質問をお願いする。</p> <p>・まず、2から4の修正案、変更点についてはいかがか。特に問題がなければ、こちらで進めさせていただきたいと思うが。委員からも意見があれば。</p>
委員	<p>・当日資料3について変更のところは分かりやすく文章を短くしてください、良くなったと思う。観光・スポーツ分野政策1の方向性・活力のエ、「MICEを契機として」と2点目を作っているが、少し文章が長いので、もし整理できるのであれば、もう少し短くされてもいいかと思う。</p>
事務局	<p>・検討する。</p>
分科会会長	<p>・その他当日資料2から4についてはよろしいか。</p> <p>・それでは、当日資料5についてだが、「期待すること」よりも「役割」という形にしたほうがよいという意見が他の分科会であり、「役割」とするのであれば、「何々しましょう」ではなくて「何々します」という文章表現に変更するということである。最終的には正副会長会議で決めるが、皆様のご意見等を踏まえて最終決定したいので、変えたほうがいいのか、前のほうがいいのかということで、ご意見等あればよろしく願います。</p>
委員	<p>・以前の「何々しましょう」という表現がすごく気になっていて、「役割」はこうだと、「何々します」とはっきりしたほうが、目指すところがクリアになっていいと思う。</p>
事務局	<p>・1点補足をさせていただく。前回は、産業分野の商工業あるいは観光・ス</p>

	<p>スポーツ分野について審議いただき、環境分野は今回初めてご審議いただくが、おおむね原案の末尾を「しましょう」から「します」に変えている。観光・スポーツ分野の政策2、「スポーツを通じた活気あふれる社会の実現」の市民の役割欄の「姫路が誇るトップスポーツチームを地域一体となつてともに応援します」というのは、新しく整理をしたほかは、内容で大きく変更になったところはない。</p>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に修正、変更したことに関して、まずいという意見はなさそうなので、こちらの方向で進めていくことでよろしいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この修正案でよいというご意見と承った。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでよろしく願います。</li> </ul>
分科会会長	<p><b>3. 審議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次に、次第の3の審議に移る。事務局から資料の説明をお願いする。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料説明。</li> </ul> <p>[説明資料] 資料1 分野目標(案)「環境分野」  資料1-1 政策(案)「自然とひとが調和した快適な空間の保全と創出」  資料1-2 政策(案)「持続可能な循環型社会の形成」</p>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございました。資料1、資料1-1、資料1-2と3つあるが、まず資料1の環境分野の分野目標からご審議いただきたい。ただいまの説明を受けて、何か質問はあるか。特になければ、この後の政策の審議の中で分野目標に関する意見が出てきたら、そちらでご発言いただければと思う。</li> </ul>
参与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系という言葉が資料1-1の中にあると思う。マイクロプラスチックが、今、生態系を壊している。買物袋などが捨てられて、それを鳥や魚が食べてという話もある。あと、それを正しく分別できているかというところ</li> </ul>

事務局	<p>るもあると思うが、市民の役割に、そのようなことも含めてマナー的なことを、「積極的な利用やマイバッグの持参など、日常生活の中で環境負荷を低減し、持続可能なライフスタイルを実現しましょう」というところに、もう一つ、生態系を維持するために正しく捨てるといったことについても記述いただいたほうがいいのではないか。ごみのリサイクル、リユースについては次の資料1-2に書いているが、生態系を守るためにどうするかという取組について、もう少し「役割」に入れていってもいいと思う。</p> <p>・市民の役割として「ごみを出さない」、「ごみを分別する」ということについては、資料1-2の市民の役割に記載をしている。生態系を守ることについて記述するのであれば、もう少し違う角度から書く必要があるかと思う。ごみの発生を抑えるということであれば資料1-2とかぶってしまうので。</p>
参与	<p>・今、世の中では、鳥や魚の内臓を見たときに、買物袋が食べられていることがあるので、それに対する市民への発信という意味で提案させてもらった。もし何か加えられることがあればお願いします。資料1-2とかぶるようであれば結構である。</p>
事務局	<p>・検討して、適切な表現があれば加えさせていただく。</p>
分科会会長	<p>・ほかに資料1-1でご意見等はあるか。</p>
委員	<p>・資料1-1の方向性「活力」イの低炭素のことだが、一方では播磨臨海地域道路を造っていくと、緑地帯が面積的に大分減ってくるのではないかなという部分もある。そのようなところで、具体的に公園整備というようなことは入れられないのかというのが一つ。</p> <p>・それと、方向性ウの「生物多様性の保全に向けた環境づくり」のところ、ここも里山や水系の保全活動ということで治水も大切だが、具体的な言葉として最近よく言われるビオトープ。いろいろな生物の生態系を調べて、そこでしっかりと育てていくような具体的な言葉を入れてもいいのではな</p>

事務局	<p>いか。水系の保全活動というのはビオトープのような活動をしようとしていると思うが、どうせならきっちりとそういう言葉を入れたほうがいいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1点目の緑地帯の話だが、緑地帯の整備については公園という位置づけになるので、第4分科会の都市基盤分野になる。都市基盤分野の中で、緑地公園については整備されてからかなり年月が経つうちに、かなり樹木が大きくなり、施設も老朽化して、少し荒廃してきている。それで再整備が必要だという方向性を示している。</li> <li>・もう1点のビオトープの部分だが、具体的なビオトープということになると、姫路市伊勢自然の里・環境学習センターがあり、そこで具体的な取組をしているので、実施計画の具体的な事業としては当然出てくるが、方向性に具体の言葉を入れたほうがいいというご提案なので、文章としてうまく入るようであれば検討させていただきたいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどの緑地帯の話に絡んで、第4分科会で方向性が示されているということだが、私は中島に住んでいて、グリーンベルトがあるが、今はジャングルみたいな状態になって、とても公園と言えるものではない。木が密生して、この前も大きいアライグマが捕まえられたりしているので、ぜひ再整備をしていただきたい。夜は真っ暗な状態で、非行の温床にもなっている。それは第4分科会のほうにつないでいただきたい。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性のところで、特に今、イノシシやシカが住宅地に下りてきて、農作物の被害もある。生物多様性の保全という中で、姫路市の場合は市民からの苦情や害獣に対する対策というのはあまりないのか。もしそういうものがあるのであれば、多様性とは違うかもしれないが、動物との共生というような文言が入ってもいいかなという気がした。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のことについては、この後ご審議いただく農林水産業関係のところで、農作物を荒らす有害鳥獣への対策ということで出てくるので、そちらのほうでお願いします。</li> </ul>

分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかにご意見はないか。後ほどご意見等があれば言っていただいてもいいが、資料1-2の政策2「持続可能な循環型社会の形成」についてご意見等があれば、よろしく願います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどの件で質問だが、シカとかイノシシとかは農業関係のことであって、環境とは一切関係ないということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ項目が何度も出てくると読んでいて混乱するので、産業分野・政策2の農林水産業関係のほうで「現状と課題」を踏まえて方向性を示している。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的な意見として今の話に関わるところで言うと、生態系の話が出ているが、資料1-1の自然環境のところでは生態系をどう保全していくかということがあまり取り上げられていなくて、エネルギー問題が中心に書かれている。ただ、今発言があったような被害の話がある一方で、動植物を保護していくという話があるのであれば、資料1-1のところでもう少し自然との共生みたいな話を書かれてもいいのではないかと、最初にこの案を見たときに思った。そういう話はそれほど重要でないのならこれでもよろしいかと思うが、今、動物の話が何人かの委員から出たので。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策1のところでは、環境保全ということで、言われるように低炭素化ということが一つ大きなテーマとしてある中で、その中には生態系を守っていく部分もあり、「現状と課題」のところでは4点目のところに内容を書いている。その方向性として、方向性ウのところ「生物多様性の保全に向けた環境づくり」ということで整理している形になっているが、もう少し厚くしたほうがいいか。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路市でどれぐらいそういうことが課題というか問題になっているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的な傾向と同じように、シカの被害であったりイノシシの被害であ</li> </ul>

分科会会長	<p>ったり、最近ではアライグマやヌートリアといったものの被害が非常に多いと聞いている。</p> <p>・どちらかというと、マイナスへの対応ということか。自然を守っていくというよりも、どう被害を食い止めるかというところで共生していく、といったことか。</p>
事務局	<p>・そうである。その部分と、外来種が入ってくることによって日本固有の動植物が荒らされているので、それを食い止めるという方向性も含んでここに書いている。川魚など、ブラックバスも含めて被害が出ている。</p>
分科会会長	<p>・分かった。</p>
委員	<p>・人間に危害を与えるイノシシなどは、事前にルールの下に取り締まればいいのではないか。例えば、イノシシなどは山の中でむやみやたらに猟友会が撃てるものではない。ルールがないから生物を保護することで、そのまま放っておくと天敵がいなからいくらでも増える。</p> <p>・坊勢島には、さっきの外来種と一緒に、もともとイノシシはいなかった。どこから来たのか漁師に聞くと、食べ物がなかつたりとかいろいろあって小豆島から泳いで渡ってきたという。小豆島から家島まで距離が大体20キロあるが、軽く泳ぐ。姫路市がいくら防御しても外から入ってくるから、多くなっている。</p> <p>・この前、家島の本島で猟友会に頼んで来てもらったが、あまり捕れない。大勢で来ても2頭か3頭ぐらい。島に入ってから取締りをするにしても、手続に2年も3年もかかる。もっとスムーズに進められるようなルールづくりができないものかと思う。</p> <p>・先ほど言ったように島にイノシシはもともといなかった。それが増えると、畑の作物ぐらいならいいが、子どもを襲う可能性がある。学校に行くとき弁当を持っていくと、その臭いをかぎつける。まだ人的な被害はないが、家島でこれをどのように取り締まるのか。今回、そのようなルールができるのなら、そのようなことも考慮して作ってもらえればと思う。これはど</p>



事務局	<p>この分野か。環境ではないのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有害鳥獣ということで、農作物への被害というのがあって、農林水産業分野の中でこの後、ご審議いただく。</li> <li>・手元の資料で、有害鳥獣捕獲数の実績として、令和元年度でアライグマが388頭、ヌートリアが29頭、シカが989頭、イノシシは369頭捕獲している。猟友会にお願いしたりとか、わなの貸出しもしていると聞いている。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかにご意見は。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1-2にごみの削減について書いてあって、これはこれでいいと思う。ごみの発生抑制や事業系ごみの減量化など、まさに言われるとおりである。文章にするとなかなか分かりにくいですが、食品ロスの削減というのは全世界的な運動という形で取り組まれている。各家庭、事業者、コンビニ、飲食店、あるいは食品メーカーなど全体で食品ロスに取り組むという意味では、この食品ロスの運動を全市的にやっていくほうがよい。全世界で何億トンという話だから、ある程度数量はつかめると思うので、それを具体的にやっていくと、毎年毎年これぐらい減ったとかいう、全市挙げての環境に向けた大きな取組ということで非常にやりやすい運動だと思う。数ある中の食品ロスではなく、姫路市全体でこの食品ロスに取り組むのだという形の大きなテーマにしてもいい。それがごみの発生を防ぐ形になるので、食品ロスをもう少しくローズアップした取組ができないかという提案である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方向性イのところを厚くするか、もしくは下の「期待すること」改め「役割」のほうで市民や地域コミュニティ、みんなで取り組んでいこうという、どちらかになると思うが、どうか。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リユースにはいろいろなものがあるし、リデュースやリサイクルもあるが、3Rをやろうと市民に言うよりは、「食品ロスを削減しよう」と言ったほうが分かりやすいし、とっつきやすいので、具体的な行動になるのでは</li> </ul>

事務局	<p>ないかという提案である。2つ書いてあってもいいが。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方向性イの2行目に「食品ロスの削減」という言葉が出ているが、もう少し説明を加えたほうがいいのか。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に食品ロスを削減して、フードバンクなどに流していく仕組みを全市挙げて考えると、貧困家庭の給食や、いろんなところにそれを利用していくという流れを姫路市で作っていくと、環境に優しいまち姫路が出来上がるのではないかという提案である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードドライブとかフードバンクの話は、この方向性に従って具体の事業の中で出てくるが、もう少し方向性イのところでは食品ロスに焦点を当てた形で文章を考えたいと思う。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかの委員の皆さんのご意見も聞いていただければ。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リユース、リデュース、リサイクルの推進は、これでいいと思う。これも大事なことだ。この中に食品ロスが入り込んでいるのが気になる。食品ロスだけを取り出して、1項目を作るのがよいのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方向性イの中を2つに分けてというイメージか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうである。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討させていただいて、正副会長会で最終的に確認していただく。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・逆に「現状と課題」のところでは食品ロスの話をもう少し入れてもいいのではないか。つまり、可燃ごみに未開封の食品というのがあるが、そこからいきなり方向性イの3Rに持ってくるよりは、3Rをそのままにしてプラスしてもいいが、「現状と課題」の中に、食品ロスのそういう問題がかなり言われているのなら、具体的に書いておいてもいいと思った。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「現状と課題」の中で、そのような取組が求められているような認識を挙げたほうがいいということか。承知した。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連意見だが、高齢化や核家族化が進んでいく中で、今意見が出ている食べ物については、作るほうも消費するほうも非常に困難な状況を迎えると思う。計画の中で目玉商品というか、他都市から参考にしてもらえそうなものは考えていないか。ずらっと並べていても、特にこれに力を入れているものというのは。今、話題になっている食品ロスは全市民に関係するし、ごみもそうだが、非常にとっつきやすいと思う。その辺りで何年か先に県や全国からこれに力を入れたいというものはないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の政策というのは、基本的に法に基づく規制といった内容になってくるので、特色が出しにくい部分がある。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかの都市、例えば長野の松本では例の3010運動ということで、会合があったときの30分間は何も話をしないで目の前の食事を取り、残り10分で目の前の食事を平らげる。できるだけ冷蔵庫の中を空っぽにしようとか、いろいろなアイデアが出てくると思う。できるかできないかは分からないが。少しつらいのは、事業所での食品の廃棄は当然出てくるので、これをどれぐらい減らすかは悩ましい問題と思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3010運動は姫路市でも取り組んでいて、ポスターをご覧になった方もあると思う。確かに市民からすると一番入りやすいところかと思うので、ご意見をいただいた内容を踏まえて考えたい。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかに何かご意見、ご質問等はあるか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロプラスチックなどの海洋ごみは、プラスチックの袋やペットボトルが悪いように言われているが、そうではなく、正しく利用して、きちんと可燃ごみに出して燃やせば何ら問題は起こらない。できたらその辺り、</li> </ul>

事務局	<p>市民の役割に、ごみが川から海に行き、そしてこういう海洋ごみになっていることを啓発できるような言葉があればいいなと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路西インターを下りたところは、ごみだらけである。高速道路を下りたときに袋に詰めてポイッと窓から捨てる。ものすごいごみなので、とても気になる。そういうごみが流れ着いてマイクロプラスチックになるので、ポイ捨て禁止を市民に徹底していけば啓蒙活動にもなっていくと思う。</li> <li>・ごみのポイ捨てをやめようというのは啓発している。今のご意見としては、資料1-1の市民の役割で、「マイバッグの持参など、日常生活の中で環境負荷を低減し」と大きくは書いている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイ捨ては、マイバッグの利用とかごみの発生抑制のどちらにも入らないと思った。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の「役割」の中で、もう少し何のためにとか、目的ということで検討させていただく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章にするのは大変難しいと思うが検討いただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の方がやっていただくことが一番大事だと考えているので。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域も当然だが、やはり市民の方が気をつけていくことだと思うので、お願いします。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかにご意見、ご質問等はあるか。よろしいか。次は農林水産業関係だが、環境分野と関わる話もおそらく出てくると思うので、また何か気づかれた点があれば、そちらのほうで出していただいても結構である。</li> <li>・それから、委員はいかがか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私はこれでよろしいかと思う。</li> </ul>

分科会会長	・次に、産業分野の中の農林水産業関連について、事務局から資料の説明をお願いします。
事務局	・資料を説明。 [説明資料] 資料2 分野目標（案）「産業分野」 資料2-1 政策（案）「政策1 地域の特性を活かした農林水産業の振興」
分科会会長	・それでは、まず資料2、産業分野の分野目標等について、ご意見等、よろしくをお願いします。
委員	・産業分野の背景のところ、コロナの関係で「経済活動が極端に停滞した」と書いてある。この関係で国産に回帰する流れが出てきている。産業分野でもサプライチェーンが崩れて、部品が入ってこなくて製品が作れない。農業についても同じことが出ている。今、国では国産国消、国で消費するのは国で生産するという方向を打ち出している。県も県産県消という言い方をしている。外国から全部輸入していたらいざとなったとき対応できないので、そういう国産回帰ということも入れられたらいいのではないかな。
事務局	・言われるとおり、そのようなことも加えるようにしたい。
委員	・文章的なことだが、背景の丸の3つ目、人口の東京一極集中は今回のコロナの関係で大きく崩れてくるだろうと言われている。逆に言えば、地方へ人を入れていくような文章にしてほしかったが、それも唐突な話なので、「大都市圏への流出」という形のほうがいいのではないかな。一極集中という、すぐに崩れていくような気がしないでもない。
事務局	・非常に難しいところである。委員が言われるように、なかなか10年先まで読みにくいところがあって、東京一極集中のまま続くのか、今回のコロナで東京は減って、大都市圏のほうに集中するようになるか。もう少し時間もあるので、今後の動きを見ながら考えさせていただきたい。

分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分野目標に関して他にあるだろうか。よろしいか。何かあればまた後ほどご意見いただければと思う。</li> <li>・それでは、資料２－１の政策１、「地域の特性を活かした農林水産業の振興」についてご意見等、よろしく願います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「目指す姿１」の方向性・活力ウのところに「農林水産物のブランド化の推進」とあって、参考資料の想定される取組の中に「姫そだち」という地元のブランドが挙げられているが、その言葉を本編に入れたほうが良いと思う。</li> <li>・もう１点、「目指す姿２」で、ページ中の「農山漁村」という言葉に違和感があったので数えてみた。タイトル部分を入れて「農山漁村」が14か所出ている。同じ言葉を出し過ぎではないか。別の表現、例えば農林水産業とか、あるいはその言葉がなくても意味が通じる部分もあろうと思うので、再度見直しをされたらどうか。あまりにも「農山漁村」という言葉が多過ぎると思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「農山漁村」についてはご指摘のように確かに多いと思うので、変えられるところは変えたい。</li> <li>・「姫そだち」については、基本構想の方向性の中に具体的に記述するのは他の方向性とのバランス上難しいと思う。実施計画ではそれを入れるようにする。</li> </ul>
参与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料２－１の方向性活力のウで、文章中に「６次産業化」という言葉を書いてある。やはりこれから活性化、魅力化を行っていく中で産物を生かした加工販売をもっと積極的に出すべきと思うので、私自身は６次産業についてもっと頭出しというか１つの重点的な項目というか、活性化の中の文書に埋もれさせるものではないと思うが、いかがだろうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に６次産業化に取り組んでいる事例は市内でも少なく、事業化が難しく、進んでいない。</li> </ul>

委員	<p>・農業のほうから言うと、皆さんは「6次産業化」と簡単に言われるが、実際に6次産業化をやって、失敗した事例のほうが圧倒的に多い。だからあまり簡単に6次産業化というのを出すのは少し問題がある。6次産業でいろいろな商品を開発されるが、続かず、ほとんど数年で終わってしまっている。それでは意味がないので、せっかく作った以上、継続していけるようなブランドでなければいけないという思いがある。あまり強調し過ぎると問題だと思う。</p>
参与	<p>・いい素材があっても、それをどう使っていくかが大事で、10年ぐらいの計画なので織り込んでもいいと思ってお話ししたが、そういう課題があるのであれば承知した。</p>
参与	<p>・先ほど野生鳥獣の問題があった。「目指す姿2」の「現状と課題」の3点目、「野生鳥獣による農林水産業への被害」に関するところで、後に「農山漁村への深刻な影響が懸念されています」とある。実際にまちなかに出てきているところがあって、農山漁村だけの問題ではないと感じるので、もう少し幅を広げて書いていただけたらと思う。</p>
委員	<p>・「農山漁村」という言葉だが、県も「農山漁村」という言葉を使っているので、そういう流れで来ていると思うが、田舎に限定されたイメージが強くなるので、市街化とかが絡む部分については表現を「等」を入れるなりしたほうが良いと思う。</p>
事務局	<p>・我々も正直、「農山漁村」という言い方を今もするのかという思いもあるが、言われるように国や県の資料を見ても「農山漁村」という言葉を使っている。</p>
委員	<p>・都市農業もある。「農山漁村」という言い方は農振地域だけのようなイメージを持ってしまうので、そこは表現としてどうかなと思う。</p>
事務局	<p>・鳥獣の被害については農山漁村だけではないので、そこは幅を持たせる</p>

分科会副会長	<p>ような言い方に修正したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・害獣の駆除は、農林業に影響があるから産業局で駆除の認可をするということだろうが、農業地域に限定した話ではない。先ほど駆除の話も出ていたが、本来駆除をする権限は産業局だけではなくて、環境とか生態系を守るため、あるいは共生を図っていくために、どこが認可するのだという、その辺の問題も含めて検討しないといけない。環境に関わる部分について、ほかの部署が産業局に意見具申して許可をもらうとか、いろいろな方法があるだろうが、許可する部署が1カ所だけしかないのが大きな制約になっているような気がする。</li> </ul>
参与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここでは農業を主体に鳥獣問題が話されているが、今言われているように鳥獣問題をどこの分野で整理するかとなると、やはりここでしかできない。だからここで少し幅を広げて表現してもいいかと思う。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結構、ハクビシンが家の中で悪さをするとか聞く。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣問題についてはもう少し中身を厚くしたいと思うが、この産業分野のところで取扱いをさせていただきたい。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう1点、先ほど6次産業の話が出ていたが、「目指す姿1」の「現状と課題」のところの認定農業者数というのは営農法人とかそういう話につながるのか。今、担当課で聞くと、法人が農地を買うのは非常に制限があるので、規模を拡大するとか、あるいは集約化を図っていく上で、国か県か市か所管は分からないが、本当に農業を支えていって自給率を高めていくとなれば、そういう農地に関わる制約を緩和しないと集約化や効率化が図れない。また、ある程度稼げる農業にしないと若い人が就農しないことを考えると、今、国の規制の中で姫路ではどんなことがやれるのか。法人が全てとは言わないが、大型化して効率化を図るのが一番だと思う。そうした規制がかかっている部分をどのように緩和できるのかは、ここに入れるかどうかは別にして考えていかないといけない。ものづくり産業が副業的に農業</li> </ul>



事務局（美化部長）	<p>に進出しているケースがあるが、さっき言ったように一定の限界があって、トマトばかりという話になる。大型化とか、休耕田をできるだけ少なくするために、法人が農地を取得できるような仕掛けづくりはできないか。</p> <p>・農地の取得の関係で言うと、3反以上の農地を一度に借りないと認めてもらえないといった縛りがあるが、農業委員会で、最近では1反で借りられるような緩和策が考えられているので、それぞれの規制しているところで緩めるという方向は考えられると思う。</p>
事務局	<p>・先程の発言については、もちろん問題認識は同じであって、主に方向性イになると思うが、そういった方向性は引き続き検討していくものだと思う。方向性イでは、「安定した農林漁業経営基盤の確立」として、ICTの活用とか農地の集積・集約による優良農地の確保、あるいは林業の生産基盤の整備や効率的な作業システムの進捗等々、具体的な方策は見えていないが、方向性としては書いている。</p>
分科会副会長	<p>・できたら規制緩和みたいな文言が入っていてもよいのではないか。</p>
委員	<p>・国ではその話が十分進んでいるので、書いておいてもおかしくないかもしれない。農地のほうは十分緩和されそうな雰囲気である。</p>
事務局	<p>・方向性アのところで「個人や法人の新規参入や」ということで、そういった環境を整えることは書いているが、規制緩和のところまで触れられてはないので、その辺の動きを確認した上で、入れられるようであればそういった内容も入れたいと思う。</p>
委員	<p>・方向性アの1点目に法人は入っているが、2点目のところで、育成ではどういう動きをイメージされているか。農業系の大学をつくるとかはないと思うが、どういうイメージで2点目が入って、真剣にどう育成しているか。</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い方、女性も含めて農業体験をしていただいて、農業に興味を持っていただくことがまず取っかかりかと思っている。そうした中でチャレンジ農園などを実施している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すごい高度なものではないということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のご意見の中にもあったが、専門的な大学との連携はやって、そこから動くものがあれば望ましい。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の話に関連すると、前回の商工業とか観光・スポーツ分野の場合だと、人材育成のところで大学とかとの連携といった記述もあった。そうなることややはり農業のほうも、具体的に大学である必要はないかもしれないが、それと同じような、並列させるぐらいのことを考えているのならもう少し出されてもいいと思った。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり大学校というところがあって、そこに1つの科をつくってみようとか、面白いことが考えられないか。せっかく姫路にもものづくり大学校があって、いろんなことを勉強しているのだから、そこでどこかの農地を借りて勉強する場があっても面白いかもしれない。</li> </ul>
参与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これは総合計画だから10年先のことを踏まえての計画と思うが、ほかの分科会を聞かせてもらっても、今のことを考えてつくっているものが多い。希望がないような、未来がないようなところがある。</li> <li>・昨日、教育分野の分科会も参加させてもらったが、1つ、(昔の文化の)「復元的整備」という言葉が出てきていた。お城はともかく、御殿の復元まで話が膨らむなと夢があった。そこまでいくかどうか分からないが、ここも、今の規制緩和のことは問題かも分からないが、10年先のことを考えて、未来に希望を持てるような何かがあればいいかなと思う。</li> <li>・例えば調整区域なども、農山村では大きな問題になっていると思う。調整区域の縛りがあるからなかなか抜け出せないという、希望がないようなところだが、10年先にはもしかしたら変わっているかも分からないので、</li> </ul>

事務局	<p>規制を変えるという文章にはなかなかできないと思うが、希望が持てるような文章を一つ入れて、10年先の総合計画に夢があるようなことも必要と思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その辺は考えさせていただく。</li> <li>・農林水産業のところで、今言われた現実的なことから出ているところが確かにあると思うので、IT機器の活用だとか、農業がさらに稼げると言う語弊があるかもしれないが、農林水産業を含めて新しい方が参入して、それが1つの産業として復帰できるような取組が描ければいいかなと思う。</li> <li>・稼げないと、やろうという人も増えないし、今やっている人も離れていってしまうので、そこは今回の方向性の一つとして、「稼げる農業」ということを大きく捉えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規参入は大体3年、県の補助がある間は何とかやっていけるが、それが終わった途端に、もうからないということでリタイアされる方が多い。そこらをフォローする意味で、姫路市が何か考えられないかということも検討してほしい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業も含めて農林水産業の後継ぎ問題というのがある。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかに何かあるだろうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどの有害鳥獣の件で補足する。4つの動物の名前を挙げたが、そのうちイノシシとシカについては鳥獣保護管理法の対象になっているので、原則保護する動物である。ただ、作物を荒らすとかいう被害があった場合には、許可を出して捕獲できることになっている。あと、アライグマとヌートリアは外来種であるので、いつでも捕獲できる。イノシシやシカは、いるからといってすぐ獲れるものではない。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動による影響というのは違う分科会で検討されているのか。災害</li> </ul>

	に対する対策とかいうのは。
事務局	・農業というよりも災害全般への対策は、安全安心分野になってくる。
分科会副会長	・他の分科会か。
事務局	・はい。第4分科会の防災・安全安心分野である。
分科会副会長	・農業に係る部分も全般的に第4分科会で検討されるということか。
事務局	・はい。農業というより、都市の防災といった観点で、姫路市全体のという形になる。
参与	・後で確認したらいいかと思っていたが、資料2-1の期待すること(役割)のところで、地域コミュニティの最後の「地域の特性を活かした活力ある農山漁村を守り、つくっていきましょう」の「つくっていきましょう」というのは何のことか。守るところまでは分かるが、「つくっていく」はどこにかかっているのか。
事務局	・農山漁村を守り、つくっていくということである。
参与	・農山漁村に両方ともかかっているということか。
事務局	・そうである。
参与	・協力しながら守って、何かをつくっていかうとしているのかなと読み取れたので、一体何をつくらうとされているのか。地域コミュニティ、イコール農山漁村なのかもしれないが、何をつくっていくのかが見えにくかった。
事務局	・活力ある農山漁村をつくっていかうということである。

分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さっき地産地消でなくて国産国消という話が出たが、農業を守るという一つには、自給率を高めていくのが大きな目的だと思う。国内で調達できるものまで姫路で調達する必要はないだろうが、海外からの輸入に頼っている部分について、姫路ないしは播磨地域でどれだけ自給率を高められるかというのが本来は農業の一番大きな目的になって、そのために農業を育てていくのだ、あるいはそこに補助金を突っ込むのだという話になっていくと思う。この姫路市内における自給率はどんなものか。お米とかはかなり高いと思うが、小麦とかもともと海外から輸入しているものについては、ある程度姫路で、休耕田中心にそこで農作物を育てていくのだというようなことがあっても面白いのではないかと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (姫路市内の自給率については) 資料を持ち合わせていないので、それはまた改めて書面で回答させていただきたいと思う。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何のために農業の規模を拡大し、もうかる農業にするのかといえば、おそらくそういうことだろう。そこに人材を集めて生産量を増やそうという話なので、姫路だけでなくいいだろうが、この近隣でどれぐらいの農作物があるか。野菜とかはある程度自給率が高いのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 穀物系は輸入が中心と思う。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肉とか、乳製品などは輸入か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給食の牛乳の調達も含め牛乳は恐らく北海道がほとんどだと思う。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 牛乳は国内で調達できても、乳牛に食べさせる餌はどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飼料関係は輸入がほとんどであろうと思う。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そういったものも含めて、それは国家戦略かもしれないが、これからの世の中を見ると輸出してくれない時代が来るかも。グローバル化と言われ</li> </ul>

<p>分科会会長</p>	<p>ているが、困り込みで、飼料も売ってくれない時代に10年後なっているかもしれないので、そのときには自給率を高める何かの考え方をに入れておいたら面白いかなと思う。</p> <p>・全体を通して、本日の審議に上がってきた内容で、別に環境分野のことも何でも構わないので、もし何かご意見、ご質問等あればよろしく願います。</p>
<p>委員</p>	<p>・環境分野のところで議論になったが、食品ロスと廃プラスチックという異質なものを同列に並べて文章を作っているから、違和感がある。そこは少し文章を工夫されるといいかなと思う。</p> <p>・それと、低炭素化とかマイクロプラスチック、これは姫路市だけの問題ではなくて世界規模の問題なので、そこをどのように表現するか。姫路市が頑張るとともに、それぞれの地域が頑張らないといけませんが、そういうことはつながっている。</p> <p>・それから、有害鳥獣の捕獲というのと、生物多様性をどう守っていくかという、ある意味相反するところがあるが、やはり保護されている動物もあるので、それをいかに適正に頭数を管理していくか、ある意味学術的な話になると思うが、そういうシカやクマの頭数を常に管理する、把握しておくことが重要になってくると思う。姫路市の地域の中でどの程度できるかは分からないが、有害鳥獣を捕獲することとバランスを取りながらやっていくということかなと思った。</p> <p>・それから、農業も委員からご発言があったとおりで、そのような形にしないとこれからの日本が大変になると最後に言われた。しかし、農業というのは非常にしんどい。それからよほど工夫しないと収入も上がらない。そういうところがある。だからスマート農業というキーワードが入っているのは非常にいいと思うが、これからはAIとかロボットとか、大規模に使えるものを導入していく。10年後にはそうならないといけないのではないかなと思った。</p> <p>・その都度、意見を言いそびれて、言わなかったが、そのように思うので、よろしく願います。</p>

分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総括的なご意見をいただいた。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1点。意見ではなくてお願いだが、ICTとかスマート農業、今いっぱい出てきているが、いざ導入しようと思うとまず資金が要る。全く誰も手が挙がらない。それだけ稼げるようになるかといって計算したら、稼げない。今、姫路市の方に姫路市でスマート農業をやっている農業者は誰かと聞くと、すぐ名前が出てくるぐらい少ないと思う。本当に10年後にみんなが手軽に手を出せるように機械の値段を下げてほしいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多分5Gが普及しないことには無理だろう。10年したら6Gになっているから。5Gの整備にまだ最低3年程度かかるかもしれない。それ以降になるだろう。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。ほか、よろしいか。</li> <li>・では、特になければ審議のほうは終了する。</li> <li>・最初にも話があったが、第2分科会としての審議は本日で最後になる。私から、委員の皆様それから事務局の皆様には、会議運営において大変なご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。</li> </ul>
分科会会長	<p><b>4 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・では次に、次第の4のその他について、事務局から連絡事項をお願いする。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、これからの流れをご説明させていただく。</li> <li>・本日は長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。いただいたご意見のほかに、第2分科会の所掌である環境、産業、観光・スポーツ分野で、この場で言いそびれたということがあれば、来週の8月5日の水曜日までに事務局宛てにメール等をいただけたら対応できるかと思う。期間があまり取れないが、8月5日までにお寄せいただけたらと思っている。</li> <li>・そして、追加意見、あるいは今日いただいた意見も含めて分科会として</li> </ul>

事務局	<p>の素案をまとめさせていただきたいと思う。本来であれば各委員の方々に お諮りする必要があるかと思うが、事務局から会長、副会長とご相談させ ていただいて修文等させていただければと思っている。その結果を8月21 日に、審議会長と分科会長との正副会長会議において、各分科会長が出席 してそれぞれの案を持ち寄って確認する。先ほど冒頭で申し上げた「市民、 地域コミュニティ、企業・団体に期待すること」改め「役割」だが、その表 現についてもお諮りしたいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正副会長会議で意見がまとまったら、すでにご案内しているが、8月31 日、第3回全体会議、8月31日2時から日航姫路光琳の間で最後の審議会 を開催したいと思っている。皆様にはその審議会の場で最終案をご覧いた だきたい。それでよろしければ太田会長のほうから市長へ答申をいただく、 このような流れになっている。よろしく願います。</li> <li>・以上である。</li> </ul> <p><b>5 閉会 (15:50)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、以上をもって第2分科会第5回会議を閉会させていただく。 会長はじめ委員の皆様には昨年来、長期間にわたって熱心にご審議いただ いて誠にありがとうございます。これからも姫路市政に変わらぬご支援、 ご協力をお願い申し上げるとともに、これまでのご協力に重ねてお礼を申 し上げる。本当にありがとうございました。</li> </ul>
-----	---